



令和八年下期の祭事

九月の祭事

九月二十日(日)

宵宮祭

九月二十一日(月)

例大祭

十一月の祭事

十一月中

七五三

十一月二十三日(月)

新嘗祭

十二月の祭事

十二月三十一日(木)

大祓式

十二月三十一日(木)

除夜祭

毎月一日、十五日 月次祭

祭事・各種祈願のお申込みにつきましては、社務所までお問い合わせ下さい。

主な内容

- ◆ 松山本郷領主
島田利正について・・・3
- ◆ 十三参り・・・4
- ◆ 春季團十郎稲荷祭
松山女子高等学校奉納演奏・・・5
- ◆ NHK
「首都圏ネットワーク」取材・・・6
- ◆ 命名・ご奉納・・・7
- ◆ 正月助勤奉仕者
募集のご案内・・・8

お盆は祖先との交流

宮司 前原利雄

暑中見舞い 申し上げます

▼鬱陶しい梅雨も明け、連日暑い日が続いております。皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

▼比企地域の丘陵に広がる田圃では、既に田植えを終え稲苗が日に日に成長し、さながら緑の絨毯を敷き詰めた情景に変化してきました。

また、各地での夏まつりも、神社関係者をはじめ地元の方々のご協力のもと老若男女問わず和気あいあいと斎行されておりますことに感謝と敬意を申し上げます。しかしながら、近年とりわけコロナ以降祭りの担い手不足や諸経費高騰などに加え、夏の異常なほどの酷暑問題も相俟って伝統ある夏祭りの中止や規模の縮小を決めた地域もあると聞き及んでおります。地域の皆様の創意と工夫を以て夏まつ

りが引き続き盛大に続けられますよう期待してやみません。▼さて、八月に入りますと祖先をまつる行事「お盆」を迎えます。地域により違いもありますが、十五日を中心に十三日夕方の迎え火に始まり、十六日の送り火に終わります。

一般に盆とは、盂蘭盆の略とされ、祖先を供養し救う仏教行事とされておりますが、盆行事は、我が国に古くからあった祖霊祭の名残とも言えます。正月や春秋の彼岸・お盆などいく度も子孫のもとを訪れます。正月棚や盆棚はその際祖先を迎える場所、神棚や御霊舎（お仏壇）の原型とも考えられています。また、盆踊りは、本来、祖先の霊を慰め送り出すためのもので、あの有名な「阿波踊り」も盆踊りの一つです。

一方、「精霊流し」という祖先送りの行事がありますが、

海沿いの町や村には、祖先は海の方からやってくると考えられているところもあります。古くから日本人は、亡き人の魂はいつまでもこの土地に留まって、愛しい人や子孫とともに生き、その幸せを見守ってくれると信じてきました。※今年のお盆にはご家族皆様お揃いにて、祖先の御霊をお迎えし、祖先との和やかな交流を図ってみてはいかがでしょうか。私たちにとって自らの生命の尊さを知り、今に生きていることの意義を見つめ直す大切な機会にもなると思います。併せて箭弓の大神様のご加護を賜り、皆様のご清福をご社頭よりお祈り申し上げます。



※氏子のしおり 第四七号
年中行事を楽しむ
／家庭のまつりの
おもしろ雑学／

暑中見舞い 申し上げます

箭弓稲荷神社
宮司 前原利雄

責任役員総代
嶋本正雄

同
野口茂

同
中里昱夫

総代 一同

職員 一同



松山本郷領主島田利正について

萩野 肇

箭弓稲荷神社は、江戸中期享保年間（一七一六～三六）からにわかに信仰・参詣するものが多くなり、門前には旅籠や茶屋が立ち並び、大変な繁盛となった。

当社のある松山本郷（松山町）は関ヶ原の戦い（一六〇〇）後松山城は廢城となりこの地は幕領となった。寛永十八年（一六四一）にこの地を知行地としたのは上級旗本島田利正（一五七六～一六四二）です。利正は父島田重次の五男、安土桃山時代から江戸前期の武將、二代目江戸北町奉行（十七年間）、切れ者として評判の人物、主君は徳川秀忠。法名幽也。

◆ 島田利正系歴代領主

利正の父島田重次（一五四五～一六三七）は、清和源氏系流の岐阜の土岐家に生を受け、徳川家の三河時代からの直参で、江戸幕府開府後、入間郡坂戸を所領地として二〇〇〇石の采地を得た。また一門の菩提所 長溪山「永源寺」（曹洞宗の名刹）を当地に建立した。



永源寺本堂（坂戸）

重次の兄弟・子・孫等が幕府の重職に列をなした。法名永源。

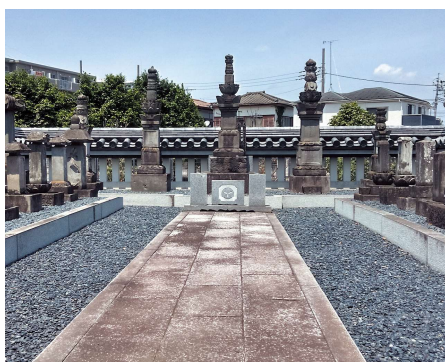
島田利正は父の所領を相続。寛永一八年には加増分の松山本郷等を知行地にし、合わせて五〇〇〇石の知行取となった。

松山本郷初代領主利正は領主としては短かったが、利正系利木（利正の子）・利宣（利正の孫）等十余代にわたり利正の知行地松山本郷（遺跡を一七〇年間支配し、文化八年（一八一二）には川越藩領に

なった。この間、松山本郷は繁栄し、箭弓稲荷神社は歴代の旗本の手厚い保護を受けた。

なお、名門で權威を示す弾正位に叙されたものは利正・政辰（利木の孫・利正のひ孫）・政弘（政辰の孫）の三人います。

詳しくは、永源寺島田家過去帳参照。



島田氏一門の墓（永源寺）

◆ 箭弓稲荷神社と島田弾正

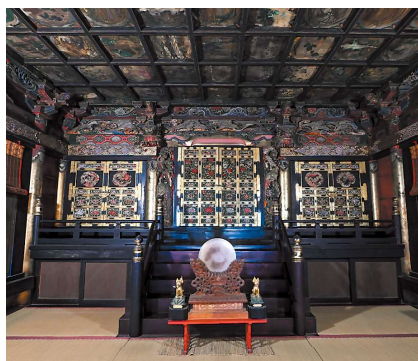
当社年表によれば、正徳五年（一七一五）～享保三年（一七二八）にかけて旗本島田弾正は当社に対して「社地を許し多くを免除した」・「信徒と共に社殿再建し本殿の規模を大に」等手厚い保護や社殿造営に尽力したと記されている。島田弾正は、旗本島田政辰（一六六二～一七二三）と考えられます。政辰は弾正位に叙された人物です。

◆ 社殿再建・造営に

尽力された人々

箭弓稲荷神社の現本殿は文化元年（一八〇四）に再建。本殿は再建なので、現本殿は約九〇年前の享保初頭に造営された旧社殿（島田弾正・松山本郷時代）の内陣正面扉（極彩色の彫刻）等（彫刻師 初代名工石原吟八義武）を再利用したのでないかという説があります。

その史料として、箭弓稲荷神社の現社殿の再建造営時の「社殿付棟札」があります。それには、宮元発願主・大世話人・世話人（有力商人等三二名）の人物が書かれております。これらの人物の先祖の多くは約九〇年前の旧社殿の造営時にも同じように尽力されたと考えられます。すばらしい文化財は、長い歴史の中から人々の英知によって生まれたのだと思います。



箭弓稲荷神社本殿内陣

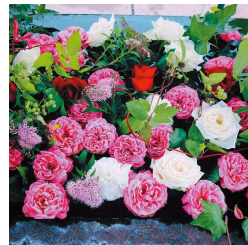
やきゅうだより

◆ 令和八年上半年期の祭事

一月	一日	元旦祭
一月	七日	古神札焚上祭
一月	二十五日	箭弓天神祭
二月	三日	節分祭
二月	十七日	祈年祭
三月	七日	火伏神事
三月	八日	初午祭
四月	十日・五月七日	ぼたんまつり
五月	二十三日	團十郎稲荷祭
六月	三十日	夏越大祓式

◆ 箭弓天神社書道展

勉学の向上を祈る「箭弓天神社祭」(一月二十五日)に合わせて「書道展」を一月二十二日から二十五日まで開催しました。多くの書生の力作が出品される中、今回は天神賞を野元柚那さんが、宮司賞を渡辺耀太さんと富田美乃里さんが受賞されました。また他の二十名の書生が梅花賞と牡丹賞に入選しました。今後ますます勉学に励まれることを祈念いたします。

二十四
「春分」花手水二十四節気
「小満」花手水

アトリエかれん様

ご協力花手水

◆ 初午祭

三月八日、火伏神事を斎行し、翌九日には初午祭を執り行いました。

火伏神事では、火難消除を祈念し、地域の皆様の安全と平穩をお祈りいたしました。



また初午祭では、稲荷大神の広大な御神徳

を仰ぎ、五穀豊穰・商売繁盛・家内安全を祈願いたしました。

当日は多くの皆様にご参拝いただき、境内は終日にわたり賑わいを見せました。ご参拝いただきました皆様、心より御礼申し上げます。



◆ 十三参り

三月三十一日、絆事業「十三参り」が当社を会場に執り行われました。

十三参りは、数え年で十三歳を迎えた子どもたちのこれまでの成長に感謝するとともに、今後の健やかな成長と学業成就を祈願する伝統行事です。比企地域の美容師の皆様で組織する実行委員会が主催し、伝統文化を次代へ継承することを目的として平成二十四年より開催され、

今年度は、新たに中学校へ進学する女子七名、男子一名が参加。女子は美容師の皆様の手により



結綿の日本髪に結い上げられ、華やかな着姿で参拝されました。参加者は手水の作法を学んだ後、社殿にて祈願を受け、これからの健やかな成長を祈願いたしました。伝統文化に触れながら人生の節目を迎えられた参加者の皆様の、今後ますますのご成長とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

◆ ぼたんまつり



四月十日から五月七日まで、「ぼたんまつり」を執り行いました。

本年は花々の開花が例年より早く、牡丹や藤は四月

中旬から下旬にかけて見頃を迎えました。色鮮やかに咲き誇る花々は、多くの参拝者の目を楽しませました。また、期間中にはさまざまな神賑行事を開催し、多くの皆様にご参拝いただきました。

五月には境内に鯉のぼりを掲揚し、五月五日のこどもの日には「こどもまつり」を開催いたしました。当日は多くのお子様にご参加いただき、境内には楽しそうな笑顔と歓声があふれ、終日にわたり賑わいを見せました。

おかげをもちまして、本年のぼたんまつりも盛況のうちに終了することができました。

ご参拝いただきました皆様、また、ご協力を賜りました関係各位に心より御礼申し上げます。



◆ 弓道大会



催されました。

当日は天候にも恵まれ、爽やかな青空の下、滞りなく大会を執り行うことができました。

箭弓稲荷神社の「箭弓(やきゅう)」は弓矢を意味し、その名のとおり弓道とも深いご縁があります。

境内には漂とした弦音が響き渡り、参加者の皆様が真剣な眼差しで的に向かう姿が印象的でした。日頃の鍛錬の成果を遺憾なく発揮され、白熱した競技が繰り広げられるとともに、弓道の精神に触れる素晴らしい大会となりました。

ご参加いただきました皆様ならびに大会運営にご尽力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



◆ 團十郎稲荷祭

松山女子高等学校奉納演奏

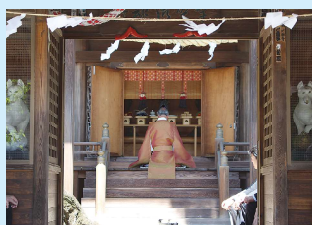
五月二十三日、團十郎稲荷社において「團十郎稲荷祭」が斎行されました。

團十郎稲荷社は、七代目市川團十郎が当社に心願し、石祠を奉納したことを礎としております。以来、芸能や技芸の向上を願う多くの方々の篤い信仰を集め、今日まで広く崇敬されてい

るお宮です。

今回は、その御神徳にあやかり、芸能奉納として埼玉県立松山女子高等学校箏曲部の皆様による奉納演奏が行われました。会場には多くの参拝者や地域の皆様が訪れ、ほぼ満員となる盛況ぶりでした。

演奏では、箏の美しい音色が会場いっぱい響き渡り、心に迫る素晴らしいひとときが創り出されました。二・三年生の皆様は、



の皆様は、息の合った見事な演奏で「流星群」や「翊くくるひ」をはじめとした様々な曲を披露さ

れ、その豊かな表現力で来場者を魅了しました。また、一年生の皆様も「さくら」を演奏され、日頃の練習の成果が感じられる瑞々しい音色を響かせてくださいました。一曲ごとに大きな拍手が送られ、会場からは感動の声が多く聞かれました。

多くの方々の心に残るひとときになるとともに、芸能文化に親しむ貴重な機会となりました。

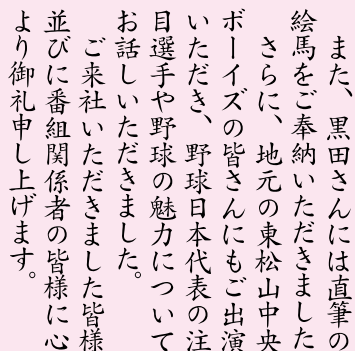
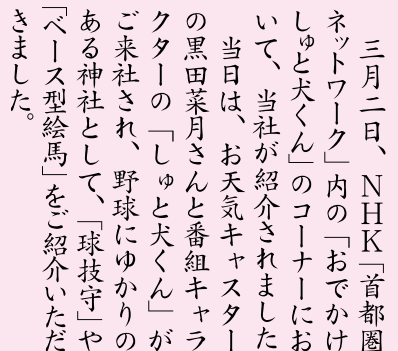
ご奉納いただきました埼玉県立松山女子高等学校箏曲部の皆様に心より感謝申し上げますとともに、ご来場いただきました皆様にも厚く御礼申し上げます。今後も御神徳を広くお伝えし、地域の皆様とともに祭典を斎行してまいります。



協賛勸募

また、協賛事業にあわせて頒布しております二十四節氣御朱印紙も大変ご好評をいただき、多くの方にお受けいただいております。

今後、花手水を通じて四季の彩りをお楽しみいただけるよう努めてまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



議会が推進する北方領土返還要求運動に協力し、署名活動を実施いたしました。

多くの皆様よりご賛同を賜り、集まつた署名簿は神道青年全国協議会を通じて、公益社団法人千島齒舞諸島居住者連盟へ提出されました。なお、提出された署名簿は、国会法に基づき衆議院及び参議院へ提出される予定です。

ご協力いただきました皆様
に心より感謝申し上げますと
ともに、一日も早い北方領土
問題の解決と返還実現を祈念
申し上げます。

当社顧問江野祐一郎様におかれましては、令和八年三月二十四日、ご逝去されました。（享年九十三歳）

江野様は平成十八年八月に当社責任役員にご就任以来、長年にわたり神社の維持運営にご尽力いただきました。また、令和二年八月より顧問として重責を担われ、当社の発展のため多大なるご貢献をいただきました。

茲に故人のご生前のご功績に深く感謝申し上げますとともに、
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◆ 命 名 (順不同・敬称略)

鈴木 勇介 次男 駿 介

健やかなご成長を
心よりお祈り申し上げます

【命名のご案内】

当社では、お子様の健やかな成長と幸多き人生を願い、命名のご相談を承っております。

●ご家族でお考えになったお名前の候補をお考えのうえ申込書にご記入ください。

※候補は三つまでとさせていただきます。

●候補のお名前について姓名判断等を参考にご助言いたします。

●候補の中におすすめてできるお名前がない場合は、神社より新たなお名前をご提案いたします。

●お名前が決まりましたら、命名書をお渡しいたします。

《初穂料》

三、〇〇〇円より

※初穂料は命名書お渡しの際にお納めいただきます。

◆ 御 奉 納

● 浄財

● 御酒

石井しげ子殿

西川 眞矢殿

忍久保仁江殿

重田 和宏殿

及川 阿悠殿

(株)勝樂園殿

(有)篠原演劇企画

篠原正浩殿

(有)吉川屋酒店殿

杵島 康索殿

山本 浩史殿

吉田 剛殿

平出 早苗殿

古澤久美子殿

湯澤 覚殿

武蔵流東松山太鼓殿

石井しげ子殿

澤田 共実殿

(株)道添測量殿

富士見リトルシア殿

アイラブオート殿

パーク熱処理工業(株)殿

(株)彩企サービス殿

越智 久子殿
東映通信工業(株)殿

山内 啓子殿
滝澤 恒秋殿
ハイブリッド演歌
あべ尚乙美殿

東日本高速道路(株)

さいたま工事事務所殿

山田 雅規殿

(有)コヤマ企業料亭角家殿

川野 俊光殿

篠崎 寛之殿

江森 彩芭殿

尾崎 道郎殿

宮崎 裕子殿

堀江ゆかり殿

飯田 修殿

高橋華奈枝殿

篠原 將浩殿

林 功・久子殿

河本工業殿

(株)高脇基礎工事殿

澤口 知子殿

木立由紀子殿

井平健一郎殿

舘田 旬佑殿

伊藤 好彦殿

矢部 美紀殿

小林 直樹殿

● 供物

大瀧信人・晃子殿

高橋 美紀殿

佐藤 朱莉殿

武蔵野フーズ

カムス第二工場殿

西川 眞矢殿

滝澤 恒秋殿

(有)菅沼塗装工業殿

石井しげ子殿

(有)吉川屋酒店殿

● 奉納品

岩田かをる殿

土谷 保子殿

上島 朱里殿

川島 有子殿

山ノ内教司殿

◆ 権禰宜昇進

令和八年四月一日付をも
ちまして、松本美桜が権禰
宜を拝命いたしましたので、
ご報告申し上げます。

今後とも神明奉仕に一層
精進してまいりますので、
引き続きご指導ご鞭撻のほ
どお願い申し上げます。

ご奉納謹んで感謝申し上げます

◆ 夏詣のご案内



当社では、七月一日より夏詣を執行行っております。境内には風鈴を飾り付け、七夕短冊の頒布や夏詣限定御朱印紙の頒布を行っております。また、八月六日・七日の両日には提灯や照明を点灯し、夏の境内を彩ります。

ご家族お揃いでご参拝いただき、風鈴の涼やかな音色とともに夏のひとときをお楽しみください。

【夏詣期間】

一、風鈴飾り

七月一日～八月三十一日

一、夏詣御朱印紙

初穂料 八〇〇円

(数量限定)

一、七夕短冊

七月一日～八月七日

初穂料 お志

一、点灯 八月六日・七日

午後六時～午後九時

(天候等で中止の可能性がございます)

◆ 正月助勤奉仕者募集のご案内

当社では令和九年正月の助勤奉仕者募集を開始しております。左記QRコードより募集要項をご確認の上、ご協力ください。また、すようお願ひ申し上げます。ご不明な点等ございましたら、社務所社務所助勤担当までお問い合わせください。

問合せ時間 九時～十六時半

【募集期間】

令和八年十月三十一日十二時まで

【面接日】

十一月一日もしくは十一月八日

※合格した方は十二月に説明会を実施いたします。

(説明会は合格確定後に日程をお知らせいたします)

【奉仕期間】

令和九年一月一日(金)より一月七日(木)を中心とした期間。

※一月一日から三日は原則奉仕必須となります。

【奉仕内容】

(女子学生) 接客業務が中心となります。

・御守、御神札等授与

・御祈禱受付及び案内

・御祈禱補助

・その他社務補助

(男子学生) 力仕事が中心となります。

・御守、御神札等授与

・荷物運搬

・お焚き上げ受付

・その他力仕事を含む社務補助

【待遇】

・白衣、袴貸与

・昼食支給

・奉仕料支給(当社規定)

※ 交通費支給なし

※ 皆様のご応募を

心よりお待ちしております。



【お申し込みはこちら (Google フォームより)】

編集後記

■ここに「やきゅうさま」第七十二号をお届け致します。

■荻野肇様より玉稿を賜ること誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。

■表紙は今年の夏詣期間中に撮影した夜間ライトアップの様子です。風鈴の音色とやわらかな灯りが織りなす夏の境内は、昼間とはまた違った趣があります。本年も八月六日・七日に点灯を予定しておりますので、ぜひお参りいただければ幸いです。

発行

東松山市箭弓町 2-5-14

箭弓稲荷神社社務所

電話 0493 (22) 2104

FAX 0493 (22) 3706

振替 東京1-38518

<https://www.yakyu-inari.jp/>

神社 HP



Facebook



Instagram